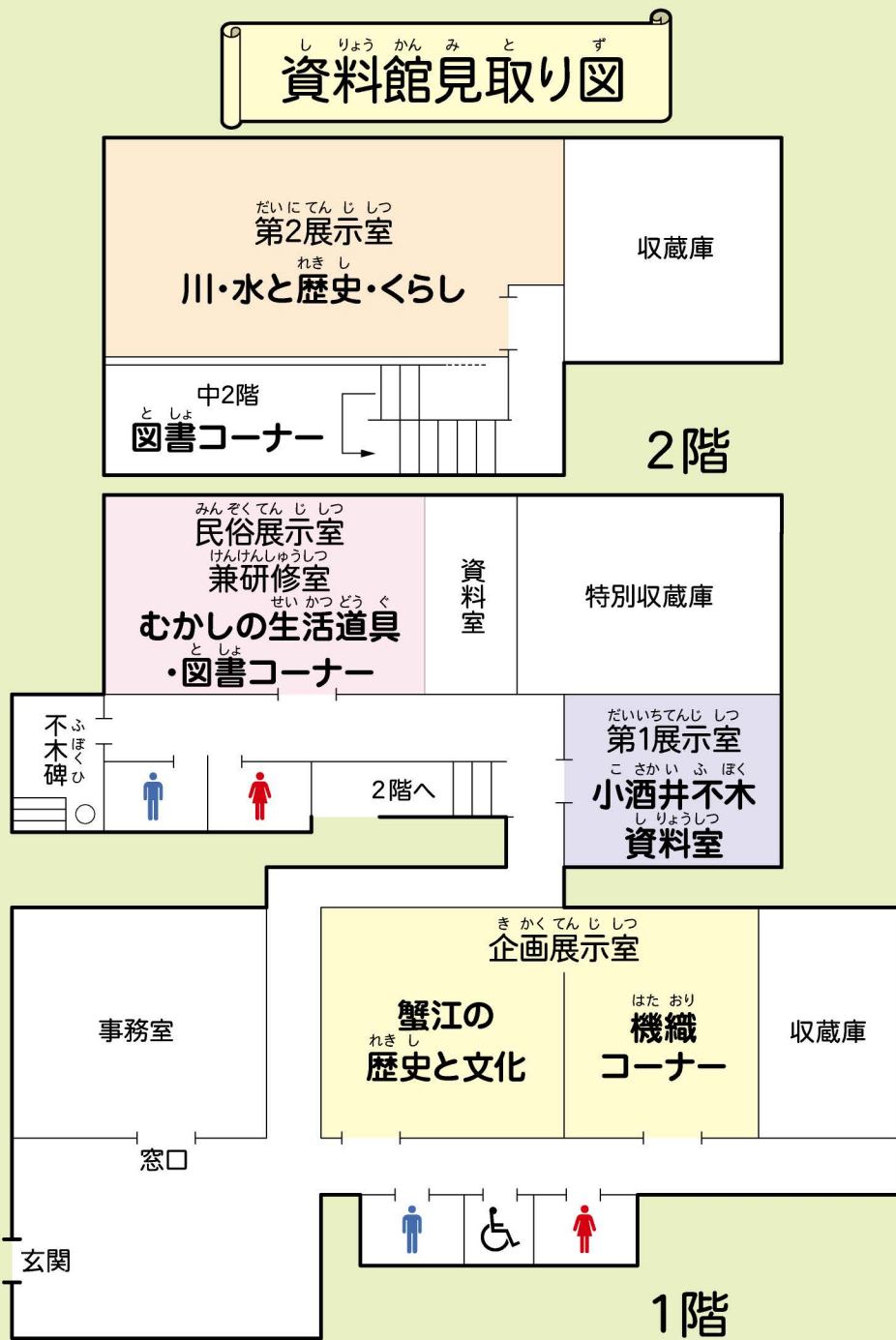
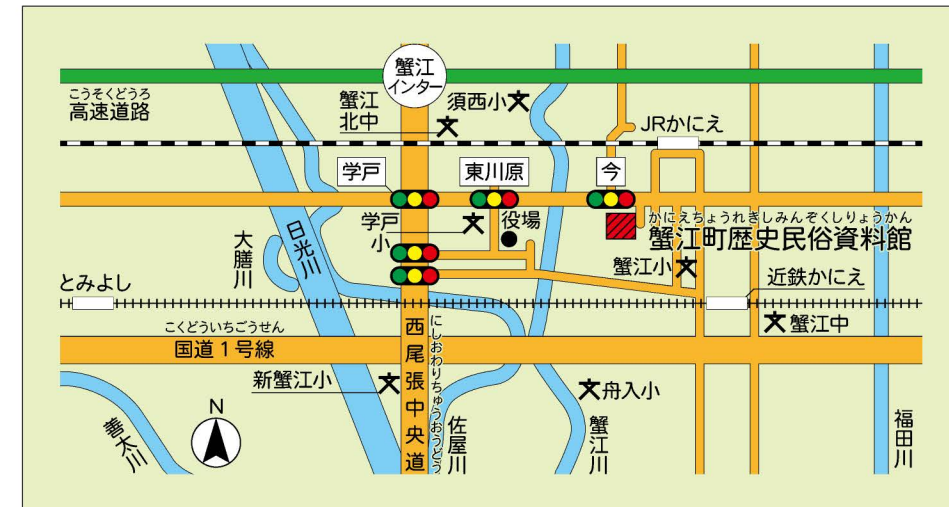




- 利用あんない**
- 見学できる時間 午前9時から午後5時まで
 - 休みの日 月曜日
12月29日から次の年の1月3日まで
特別休館日(展示がえなどのとき)
 - 入場料 無料
 - 住所と電話番号 蟹江町城一丁目214番地(蟹江町産業文化会館内) 0567-95-3812



メモ・スタンプ

かにえちょうれきしみんぞくしりょうかん



郷土の歴史や昔のくらしを学ぼう!

—— 見学するときのちゅうい ——

展示資料にはさわらないでください。

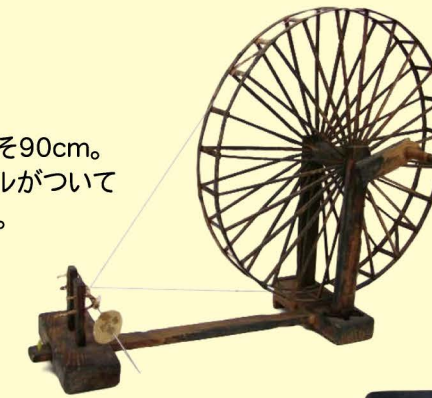
展示室で食べたり飲んだりしない。

わからないことがあったら質問してみよう。

クイズ

次の資料はどこに展示してあるのかな? 何に使う道具かな?

- ① 幅およそ90cm。
ハンドルがついて
います。



- ② 幅およそ90cm、高さおよそ55cm。
上と前に穴が2つつあるよ。



- ③



長さおよそ1m10cm。 木でできています。

- ④



小さいものだとも60cmぐらい、大きいものだとも1m40cmぐらい。
竹でできています。

ここをあけるとクイズの答えがあるよ。

ここをあけると展示室の内容が分かるよ。

企画展示室

蟹江の歴史と文化、機織コーナー

蟹江町の歴史・産業・祭り・昔の遊び・災害・教育・郷土ゆかりの人々などを紹介しています。この部屋は特別展の会場にもなります。

機織コーナーでは昔の布づくりのようすを知ることができます。



第1展示室

小酒井不木資料室

蟹江町出身の探偵小説家である小酒井不木の作品や、使っていた机などが展示してあります。

不木はもともと医学者で、医学を勉強するために渡ったイギリスでコナン・ドイルらの探偵小説に出会い、それらを日本で紹介するようになりました。やがて自分でも作品を書くようになり、その後日本でミステリーという分野が定着しました。江戸川乱歩の先輩としてデビューのあとおしをしたり、相談にのったりもしました。小説のほかに俳句の作品も多く残しています。



小酒井不木

第2展示室

川・水と歴史・くらし

川がたくさん流れ、水とのかかわりが深い蟹江町。土地が低い水郷地帯の特徴をもった昔の米作りの道具、川や海で使われた漁業の道具、川の恵みをいかした郷土食、そして、船で行き来するのに大事な場所だとしておかれた蟹江城についても紹介しています。



民俗展示室兼研修室

むかしの生活道具・図書コーナー

昔の人たちが家の中で使った生活道具が展示してあります。電気などを使わずに、昔の人たちがどんな道具を使って工夫して生活していたのかが分かります。図書コーナーには、歴史などの学習に役立つ本があります。



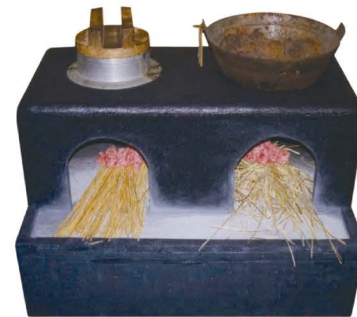
クイズの答え

①糸車（企画展示室 機織コーナー）

綿から糸を作る道具。とがった棒に綿をあて、ハンドルをまわして糸を作ります。昔の人は、畑で綿をつくり、それを糸にし、糸を織って布を作り、着物にしました。

②クド（カマド） （民俗展示室兼研修室）

ごはんをたいたりおかずを作ったりするのに使った道具。上の穴には、なべやお釜を入れ、下の穴にワラや草木の枝などを燃料として入れ、それをもやした火を使って料理をしました。



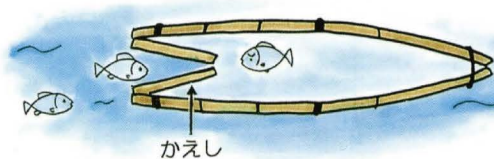
③田舟（第2展示室）

田んぼで刈り取った稲などをのせて引っぱって運ぶのに使いました。昔の蟹江には水路が多く、重いものを運ぶのには舟が役に立ちました。



④ノドキ（ウゲ）（第2展示室）

川や田んぼで魚をとる道具。水のとおり道にしかけ、小さいものでは小魚や小エビ、大きいものではウナギをとりました。中に「かえし」がついていて、魚が一度入ると出られないようになっています。



蟹江町歴史民俗資料館について

● いつできたの？

資料館は1978年（昭和53年）に開館しました。それより前の1969年（昭和44年）から郷土館というのがあり、それをうけついでつくられました。1989年（平成元年）には産業文化会館ができ、企画展示室ができました。

● どれくらいの資料があるの？

今、資料館にある資料は4000点以上あります。展示してあるのはそのなかの一部です。展示していないものは、収蔵庫にしまっておりあります。展示資料は、テーマにあわせていれかえをしています。

● どうやって資料を集めたの？

資料館の資料は、町内の人や蟹江にかかわりのある人たちから提供していたものだものがほとんどですが、中には買ったものもあります。

集めた資料は、どんなものなのかを調べ、台帳に記入してから大切に保管し、蟹江町の歴史や民俗を知るのに役立てています。

● 資料館の役割

資料館の大きな役割は、やはり、資料を展示して、見学するみなさんに蟹江町の歴史や民俗について知ってもらうことです。（民俗とは、祭りや郷土食、方言など、地域ならではの行事や生活スタイルのことです。）そのためには、必要な資料を集めたり、その資料についてくわしく調べたりするだけでなく、その資料を次の世代にのこせるように大切に保管していくことも重要な役目です。

また、体験講座を行って蟹江町の歴史や民俗について、より深く学習してもらうことや、町内にある文化財を保護する活動などもしています。